company newsletter

5 赤帽・ダンベぇときどき新聞 VOL8

2016.5.1 地震災害について考える 発行元 小久保運送有限会社 0270-32-1542

熊本地震発生。急遽、商工会議所の仲間達が、それぞれの属する業界のなかで、ボランティアとして現地へ入りました。聞けば、現場はメディアで伝えられている通りのこともありましたが、人や物は十分に行き渡ってはいなかったようです。（4/21現在）

私も石巻や気仙沼、洪水被害の常総市等、被災されたエリアへボランティアで行きましたが、やはり必要とされている場所へ必要な人やモノを速やかに送り込むシステムを早期に確立することがとても重要です。さらにその場合、経験がモノを言うのだということを感じた次第です。

行政の不慣れな職員の方より、経験を積んだ民間ボランティアや業者の方が、適切な指示や動きができるように思いますし、実際私が携わった現場はそうでした。

我々赤帽も群馬県とは「災害時の物資等の緊急輸送に関する協定」を結んでいます。我々は小さい車のプロドライバー集団です。大きな車が入れない場所等、災害時の初期段階で各避難場所への物資の輸送等に力を発揮するはず。そして協定を結んでおけば、震災発生時には「いざ鎌倉」という気持ちで、業界は1つにまとまります。（要するに普段の心がけです。消防団の方が職務を全うしようとするのと同じです。）

もはやこの国では、どこでどんな災害に出くわすか、誰もわかりません。我々としては、お客様にご迷惑をおかけしないためにも、普段から災害を想定した動きを心がけ、いつか来るであろう大地震に備えて行きたいと思います。（TK）

「おかたづけ」ご相談の仕方？？

もし、お部屋やお家のおかたづけしたいなぁ、と思ったらご希望の日程を決めて、以下の手順で弊社へご連絡下さい。

1．かたづけダンベぇのホームページを見る

2．片づけたい荷物に合う車（軽・1.5平・2t幌等）を想定（イメージ）する。

3．大型家具、ソファ、ベッド等の数について把握する。

4．家電リサイクル法に該当する品があるか把握する。

5．かたづけダンベぇへ電話する。0120-895-371

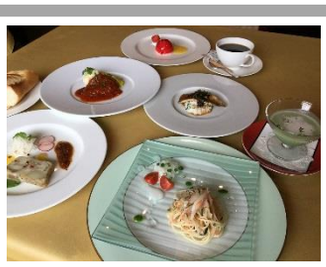
当方が知りたいのは、ご不用品の量と必要な車輌・人員、一般ごみ以外の物があるかどうか？等々です。これがわかれば、ある程度お電話でご質問にお答えできますが、当方から現物を見てお見積りさせて欲しいとお願いをすることも多いです。もちろんお見積りは無料。思い立ったがおかたづけ日和！是非お気軽にお問い合わせ下さい。

danbe.jp

ビフォー

アフター

昭和五十九年創業 老舗フランス料理店の絶品ランチ 「シェ・おざき」さん



伊勢崎市本町通りの一本北に佇むお店。以前は完璧なフォーマルな雰囲気でしたが、現在はオーナーシェフと奥様、娘さん…と、ご家族が笑顔で働く、親しみやすさが漂うお店に。

ランチは、一八五〇円のコースのみ。オードブルが三皿、スープ、お肉料理、パン、デザート、お飲み物：味の基礎となるスープ作りなど下ごしらえにも手間とコストを惜しまないのもシェフの信条。本格フレンチをベースに、和・中華といった味も加えた、シェフの確かな技とアイディアが光る見事な料理の数々。

ランチは火曜～土曜、ディナーは予約のみの営業です。夜は五千円のフルコースが基本。

肩肘張らず気軽に…、だけど根幹には正統派フレンチの香りが感じられる、老舗フレンチ店の実力を是非堪能してください！

「シェ・おざき」
住所：伊勢崎市本町3-6
電話：0270-25-6678

出典　伊勢崎佐波エリアを発見するサイト「アイマップ」
http://www.imap.ne.jp

ひとこと

東北の震災時より、携帯やSNSとも言えるスマホが普及している今、九州の被災地では、情報のやり取りにスマホが威力を発揮しているはずです。

そういう意味では今後、スマホを多くの人が持っているという前提で、災害対策や準備を行っておいたほうがいいように思います。

そして未だにSNS等を使っての情報発信が不得手な市町村がありますが、こうした現状を鑑みれば防災という観点からも積極的に使うべきではないでしょうか。

ついでに広報紙を作って配るという広報システムだけでいいのか？時代に合った広報のあるべき姿を、今こそ模索すべきだと思うのです。